

日本精神保健福祉政策学会 第26回学術大会

精神保健の イノベーション

—川崎市の取組をもとに考える—

川崎市は京浜工業地帯の一角にあり、都市化、戦災、公害などの幾多の歴史的課題を乗り越えて発展してきた。精神保健に関しては、川崎市第二次総合計画の「心身障害者センター」の建設計画の中で、昭和46年に社会復帰医療センターを開設し、わが国の地域精神保健の進むべき方向を示した。この取り組みは、身体・知的・精神の3障害の枠を超えて、すべての障害者が住み慣れた地域で最適な自立生活ができるようにするとの方向のもと、北部、中部、南部の地域リハビリテーションセンターに再編・発展している。そして今日、すべての地域住民を対象とする「地域包括ケアシステム」を構築するという方向の中に統合され、さらに発展しようとしている。本学術大会においては、川崎市の精神保健の歴史的発展から、精神保健福祉政策の将来像をとらえる。

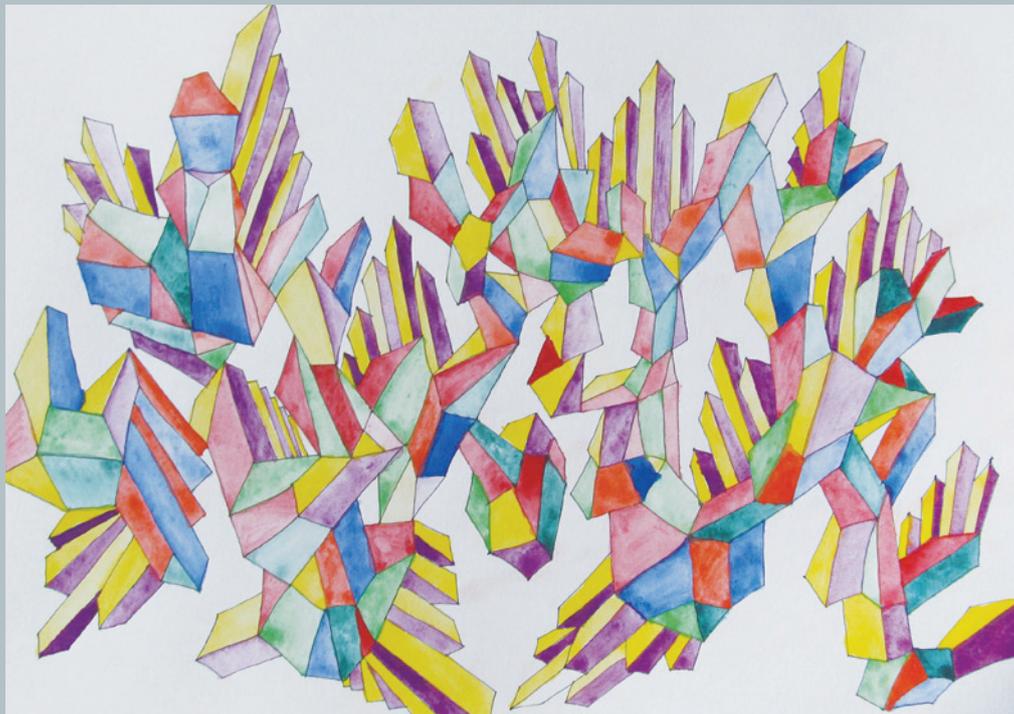
特別
講演

現代精神医学は地域精神保健の
期待に応えているだろうか
古茶大樹 聖マリアンナ医科大学神経精神科

わが国の精神保健の方向と
地域への期待

鶴田真也

厚生労働省社会・援護局
障害保健福祉部精神・障害保健課



橋爪栄 習作

平成29年2月25日(土) 9:30—17:00

川崎市産業振興会館

川崎市幸区堀川町66番地20

参加費：3,000円(資料・ランチを含む)

主催：日本精神保健福祉政策学会

後援：川崎市・川崎市精神科医会・

全国精神保健福祉連絡協議会・上智大学グリーンケア研究所

参加申込方法

学会および懇親会の参加について電子メールにてご連絡ください。

折り返し、参加登録のメールを返信します。

申込先：zenkoku@kyosaren.or.jp

日本精神神経学会専門医制度ポイント取得学会
(B群2単位)：専門医認定証をご持参ください。



JR川崎駅西口から徒歩8分、京急川崎駅から徒歩7分